

子どもは絵本を 「おしまい」に したくないんだ。

どうして子どもは、
同じ絵本を何度でも楽しめる？
山口先生、教えてください。

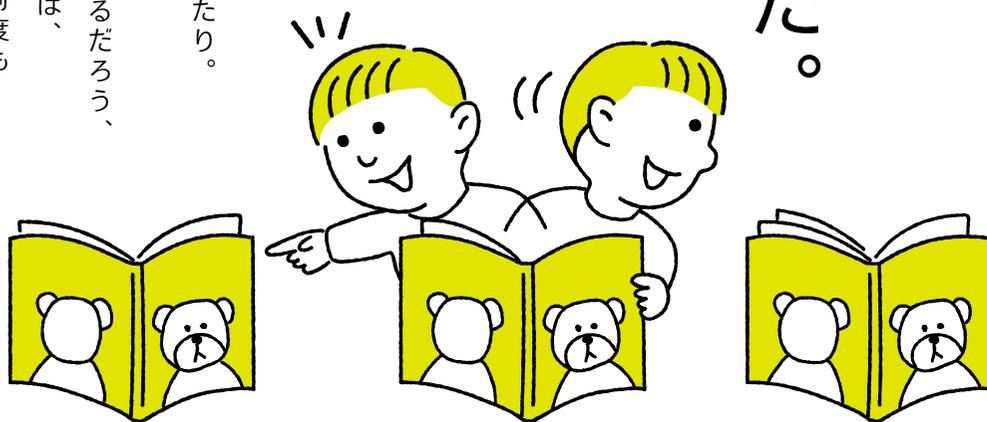
「もう一回、もう一回」

同じ絵本を何度もくりかえし
読みたがる子どもたち。本屋さんでも
最後まで読み終わった絵本をほしがったり、
家にあるのと同じ絵本を図書館で借りてきたり。
これには、きちんとワケがあるのです。

絵本のお話は短いから一回読めば理解できるだろう、
大人はそう思いますよね。でも子どもたちは、
理解したいのではないのです。同じ絵本を何度も

めくって、同じ楽しさが「やっぱりあった！」と再発見を
くりかえしたいのです。家にある絵本が図書館にもあることに
よるこびを覚え、2冊並べて同じページをめくりながら、
「やっぱり同じ！」と何度も確かめたいのです。

絵本の中のうれしいことや楽しいこと、こわいことや
悲しいことも。くりかえし体験することで心に刻まれ、
ずっと先まで残っていきます。きつと、あなたの胸の中にも…
もう一度、子どもと同じ気持ちに戻って、
絵本の力を体験し直してみませんか。
それは、忘れそうになる本当の自分に、
くりかえし出会い直すことだから。



心理教育学科
講師 山口理沙



和光3分大学

現代人間学部

心理教育学科 (心理学専修 / 子ども教育専修 / 子ども教育専修 保育コース)

人間科学科

表現学部

総合文化学科 / 芸術学科

経済経営学部

経済学科 / 経営学科

TEL: 044-988-1434 (入試広報課)

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

【ホームページ】 <https://www.wako.ac.jp/>

【メールアドレス】 go@wako.ac.jp

異質力で、輝く。

和光大学